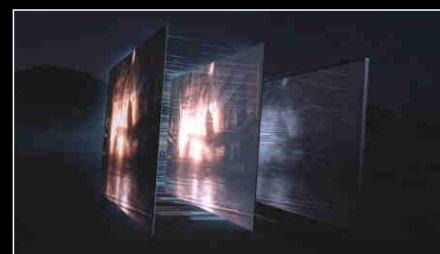




映画もゲームも。エンタメぜんぶ高画質 TCL独自技術が詰まった 革新的チューナーレスTV

2019年に、世界で初めてMini LEDテレビを発売したTCL(ティーシーエル)。
この夏の新作「C845シリーズ」は、新世代のMini LEDと量子ドット技術でさらに高画質を極めつつ、
動画配信&144Hz VRRゲーミング対応を果たした、意欲的なスマート4KチューナーレスTVです。

TCL「C845」はここがスゴイ!



Mini LEDライトが進化

従来よりも劇的に小さく、高効率になった数千個のMini LEDを搭載。それらをゾーンごとに精密に制御するローカルディミングも進化しました。従来モデル比で輝度はおよそ30%、分割エリアは80%以上増加。コントラスト豊かな映像が楽しめます。



量子ドット技術「TCL QLED」

TCL独自の量子ドット技術「TCL QLED」も着実に進化。C845シリーズでは量子ドットシートをフィルム化。透過率が上がり色のロスが低減されて色純度が高まり、画質が向上。より軽量になったことで、デザイン性のよさにもつながっています。



新しいAI映像エンジン

画質解析のアルゴリズムを刷新したAI映像エンジン「Algo Engine Max II」を搭載。地デジやネット映像のアップスケーリング処理はもちろん、「Ai-Motion」など、ゲーミング用途に役立つ残像処理、スムーズな動画表現も特長です。

4K液晶テレビ(チューナーレス)

TCL C845



¥OPEN(65V型/55V型)

SPEC ●パネル方式:液晶 ●画素数:3,840X2,160 ●HDMI:4系統 ●音声実用最大出力:60W ●外形寸法:1446W×903H×319Dmm(65V型)※スタンド含む ●質量:約26kg(65V型)



Mini LEDの先駆者に相応しい 技術志向のスマートTV

VGP審査員 海上 忍

革新が続く薄型テレビですが、液晶方式はまだ現役。パネルサイズはより大型へシフトし、LEDバックライトの普及により、発光効率や画質が向上しました。さらに昨今は「Mini LED」や「量子ドット」といった画期的な技術も現れ、有機EL一辺倒とはなっていないのが現状です。そのMini LEDと量子ドットの分野で先を行くのが、TCLです。2018年に世界で初めてMini LEDテレビを展示、翌年にはMini LEDと「TCL QLED」を搭載したテレビ「65X10」を発表しています。

QLEDは量子ドット(粒子状素子をフィルムに塗布したシート)と青色LEDを光源に用いたバックライトを組み合わせ、光の波長変換によりRGBカラーを得る技術です。白色LEDを用いた一般的な液晶パネルを上回る色再現性と高コントラストを実現でき、低消費電力も相まって液晶パネルにおける一大技術トレンドとなっています。

TCL「C845」は、Mini LED+QLED採用機の中でも特に“尖った”モデルです。地上波/衛星波は視聴できないチューナーレス機ですが、従来型液晶テレビに比べて明るさは4倍、直下型Mini LEDをゾーンごとにオン/オフ制御するローカルディミングと、高い描画性能を備えています。特筆すべきは、ゲーム用途を意識したスペックです。ALLMと4K 144Hz VRR、DLG 240Hz、さらにAMD FreeSync Premium Proをサポート、ゲームモードに切り替えれば0.8msという優れた応答速度を発揮できます。高い描画性能を求められるゲーミングモニターとしても使える水準です。スピーカーは5基、計60W。ドルビーアトモスやDTS-HD、DTS Virtual:Xといったイマージングオーディオ規格にも対応していて、広がり感あるサウンドをテレビ単体で楽し



特別大賞



金賞

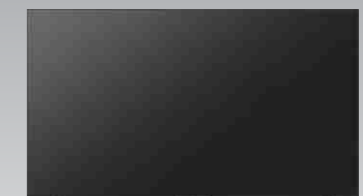
※65C845
※55C845

チューナー内蔵TVは
こちらがオススメ!

LINEUP

C645

¥OPEN(75V型/65V型/
55V型/50V型/43V型)



チューナー内蔵でGoogleTVを搭載した、ベーシックモデル。TCL独自の量子ドット技術「QLED」による鮮やかな映像、ドルビーアトモス/DTS-HDの立体音響が楽しめます。

めます。

OSにはGoogle TVを採用していてNetflixやYouTube、Abema TV、U-NEXTなどメジャーなネット動画サービスを網羅し、付属リモコンにはそれらサービスに直結するボタンが用意されていることもポイントです。放送波のリアルタイム視聴にこだわらず自分の好きなコンテンツをとことん楽しみたいユーザーに魅力的なテレビといえるでしょう。

C845の見どころは、やはりMini LED+QLEDが織りなす映像美です。YouTubeで配信中の『Bulgaria 8K』は、冒頭付近の聖堂内部のシーンを丁寧に描写。薄暗いなかでも壁画の色調が丁寧に再現されるなど暗部階調表現はしっかり、一方で画面中央のシャンデリアもHDRらしい輝きで迫ります。ダイナミックレンジの広さは有機ELに迫る勢いで、液晶テレビに対する先入観を払拭するに十分なコントラストです。Ultra HDブルーレイ『天気の子』でも、確かな描画力を感じさせました。打ち上げ花火のシーンでは、Mini LEDならではのローカルディミングによる効果か、応答速度の速さもあって夜空に咲く大輪の色滲みはなく、ディレクターズintentを感じさせてくれます。両音の立体感/音場の広さを感じるのは5基のスピーカーの効果でしょう。

Mini LED+QLEDの高画質に、充実の機能を備えた「C845」。チューナーレスという割り切りとゲーミングに対応できる高速応答は時代の先を行くもので特別大賞に相応しい実力機です。



144Hz VRR対応

最先端のゲーミングモニターと同様に、画面を書き換えるリフレッシュレートが1秒に144回。144Hz VRR(Variable Refresh Rate)に対応するため、フレームレートが安定しないゲーム映像も美しく表示できます。



ドルビーアトモス対応

映画もゲームも臨場感たっぷりに楽しめるエンタメのためのテレビとして、音質も妥協なし。総合出力60Wで低域を強化するためにサブウーファーも内蔵。ドルビーアトモスやDTS HDの立体音響を再現できます。



ネット動画にアクセス

Google TVに対応するスマートテレビ。ネット動画サービスのダイレクトボタンも配置されていますので、手軽にNetflixやU-NEXTで配信されている映画やドラマ、YouTubeなども楽しめます。ちなみにリモコンから音声操作も可能です。